

# 令和3年度地域包括医療・ケア研修会 特別開催

## [ライブ配信プログラム日程表]

### ウイズコロナ時代の地域包括医療・ケアの挑戦!! ～国保直診の使命と役割を考える～

◇ライブ配信プログラム期日:令和3年9月17日(金)10:00~18:00

◇オンライン(WEB)開催

#### [ライブ配信プログラム] — 9月17日(金) —

##### 10:00-10:10[開講式・挨拶]

小野 剛	公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会会長
中野 透	公益社団法人国民健康保険中央会常務理事

##### 10:10-11:20[講演Ⅰ]

###### 【演題】 国民健康保険制度の現状と今後(仮題)

講師	森田 博通	厚生労働省保険局国民健康保険課長
司会者	小野 剛	国診協 会長/秋田県:市立大森病院長

##### 11:20-12:20[講演Ⅱ]

###### 【演題】 コロナ禍におけるフレイル・ロコモの現状とその対策(仮題)

講師	荒井 秀典	国立長寿医療研究センター理事長
司会者	安東 正晴	国診協 副会長/香川県:三豊総合病院企業団企業長

##### 12:30-13:30[講演Ⅲ]

###### 【演題】 新型コロナウイルス感染症と次世代のための地域医療構想(仮題)

講師	吉村 健佑	千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター長・特任教授
司会者	海保 隆	国診協副会長/地域包括医療・ケア研修会特別開催実行委員会委員長/千葉県:国保直営総合病院君津中央病院長

##### 13:35-15:05[パネルディスカッションⅠ]

###### 【演題】 COVID-19クラスターからの学び その時私たちががすべきことは?

趣旨	クラスターを経験した各現場からの報告(経過、対応処置、行政からの支援の有無とその形、職員及びその家族へのサポート、その他苦労したこと、他施設への助言等々)していただき、討論していただく	
発表者	後藤 貴宏	岐阜県:下呂市立小坂診療所長/下呂市立小坂老人保健施設長
発表者	川口 竹男	神奈川県:小田原市立病院長
発表者	濱口 重人	大阪大学医学部附属病院感染制御部医師
発表者 司会者	小野 剛	国診協会長/秋田県:市立大森病院長
司会者	廣瀬 英生	国診協コロナ感染対策特別委員会委員長/岐阜県:県北西部地域医療センター副センター長兼国保白鳥病院副院長

##### 15:10-16:20[講演Ⅳ]

###### 【演題】 医療を取り巻く情勢(仮題)

講師	横尾 俊彦	国診協 開設者委員会委員/佐賀県:多久市長
司会者	金丸 吉昌	国診協 副会長/宮崎県:美郷町地域包括医療局総院長

##### 16:25-17:55[パネルディスカッションⅡ]

###### 【演題】 コロナ禍でも診療所は面白い!

趣旨	どんな状況でもポジティブな姿勢を忘れない診療所のあり方をプレゼンテーションする	
発言者	澤田 弘一	岡山県:鏡野町国民健康保険上斎原歯科診療所長
発言者	武田以知郎	奈良県:明日香村国民健康保険診療所長
発言者	中村 伸一	福井県:おおい町国民健康保険名田診療所長
発言者	和田 智子	秋田県:にかほ市国民健康保険小出診療所長
司会者	山田 康介	国診協診療所委員会委員/北海道:更別村国民健康保険診療所長

##### 17:55-18:00[閉講式・挨拶]

海保 隆	国診協副会長/地域包括医療・ケア研修会特別開催実行委員会委員長/千葉県:国保直営総合病院君津中央病院長
------	---

# 令和3年度地域包括医療・ケア研修会 特別開催

## [オンデマンド配信プログラム日程表]

### ウィズコロナ時代の地域包括医療・ケアの挑戦!! ～国保直診の使命と役割を考える～

◇オンデマンド配信プログラム配信期間:令和3年9月17日(金)～30日(木)の2週間

※配信期間中は、いつでも、どこからでも、研修会専用URLに接続いただくだけで視聴ができます。

※質問は、研修後のアンケートと併せて受け、対象演者に確認後、後日回答させていただきます。

[事前収録配信プログラム]— 9月17日(金)～30日(木):2週間 —		
<b>講演Ⅴ</b>		
<b>【演題】</b>	コロナ禍で中止を余儀なくされた学会/研究会の報告～我々が学会/研究会を通して訴えたかったこと～	
<b>趣旨</b>	各大会長の先生に、中止となった学会・研究会の概要、メインテーマ、学会・研究会を通してやりたかったこと、地域紹介等を講演していただく。	
<b>発表者</b>	<b>村上 英之</b>	第60回全国国保地域医療学会 学会長/北海道:足寄町国民健康保険病院長
<b>発表者</b>	<b>荻野 健次</b>	第61回全国国保地域医療学会 学会長/岡山県:備前市病院事業管理者
<b>発表者</b>	<b>近藤 祐一郎</b>	第34回地域医療現地研究会/福島県:公立藤田総合病院長
<b>発表者</b>	<b>加藤 弘幸</b>	第35回地域医療現地研究会/三重県:紀南病院組合立紀南病院長
<b>司会者</b>	<b>沖田 光昭</b>	地域包括医療・ケア研修会特別開催実行委員会副委員長/国診協地域医療・学術委員会委員長/広島県:公立みつぎ総合病院顧問
<b>講演Ⅵ</b>		
<b>【演題】</b>	コロナ禍における歯科・口腔保健関連について(仮題)	
<b>講師</b>	<b>深井 穂博</b>	深井保健科学研究所 深井歯科医院/深井歯科医院院長
<b>司会者</b>	<b>奥山 秀樹</b>	国診協常務理事・歯科保健委員会委員長/長野県:佐久市立国保浅間総合病院医療技術部長兼歯科口腔外科部長
<b>講演Ⅶ</b>		
<b>【演題】</b>	ウィズコロナ時代の国民健康保険の動向と今後の展望(仮題)	
<b>講師</b>	<b>三好ゆかり</b>	公益社団法人国民健康保険中央会保健事業専門幹
<b>司会者</b>	<b>大原 昌樹</b>	地域包括医療・ケア研修会特別開催実行委員会副委員長/国診協常務理事・地域ケア委員会委員長/香川県:綾川町国民健康保険陶病院長
<b>会長講演</b>		
<b>【演題】</b>	国保直診における地域包括医療・ケア(仮題)	
<b>講師</b>	<b>小野 剛</b>	国診協会長/秋田県:市立大森病院長
<b>情勢報告</b>		
<b>【演題】</b>	国保直診における新型コロナウイルスの影響と対策に関する情報等(仮題)	
<b>講師</b>	<b>後藤 忠雄</b>	国診協常務理事・総務企画委員会委員長/岐阜県:県北西部地域医療センター長兼国保白鳥病院長

裏面にもプログラムを掲載しております

専門分科会①(看護・介護部会)		
<b>【演題】</b>	<b>コロナ禍における看護と介護の課題～様々な制限からの影響で今後も続くこと、変化が求められること～</b>	
<b>趣旨</b>	<p>コロナ禍における医療・介護の現場では、感染拡大予防のためにあらゆる制限がとられるようになった。医療の現場では、診察開始時におけるコロナ感染の有無確認から始まり、病状変化時や終末期等における意思決定支援も含めた説明時期の見極め、介護の現場では面会制限や外出の自粛、ご本人やご家族にとっても意思疎通の制限がかかることで、精神的に不安定となり認知機能の低下が出現するなど様々な影響がある。高齢者においては、マスク着用が及ぼす影響だけでも計り知れない。コロナ禍におけるあらゆる制限と感染拡大防止のはざまに立たされる現場のジレンマに向きあい、今後も続くであろう制限や変化が求められることとその対応など、皆様と検討していきたい。</p>	
司会者	<b>内田 望</b>	国診協 地域ケア委員会 看護・介護部会長／埼玉県:国民健康保険町立小鹿野中央病院長
発表者	<b>沖田 光昭</b>	国診協 地域医療・学術委員会委員長／広島県:公立みつぎ総合病院顧問
発表者	<b>北 清美</b>	国診協 地域ケア委員会 看護介護部会委員／千葉県:君津中央病院看護局次長
発表者	<b>松本 康博</b>	国診協 地域ケア委員会 在宅医療推進部会委員／長崎県:国民健康保険平戸市民病院地域連携室医療ソーシャルワーカー
専門分科会②(在宅医療推進部会)		
<b>【演題】</b>	<b>コロナ禍の在宅医療</b>	
<b>趣旨</b>	<p>現在、全世界で新型コロナウイルス感染が猛威を奮い、日本においても社会のシステムを変えざるを得ないほどのインパクトを与えています。その中でも私たちが携わる医療・介護領域は最も強く影響を受ける現場のひとつでしょう。「医療崩壊」といわれるほどの逼迫した状況が連日報道されていますが、一方で高齢者施設、介護施設でのクラスター発生、訪問系医療・介護サービスの利用制限など、医療機関外での影響も甚大です。加えて感染拡大抑制のため物理的な移動の制限、対面接触の回避が求められ、これらによる二次的な影響としてコミュニケーションの低下、情報共有不足が指摘されています。今回のパネルディスカッションでは、このコロナ禍での在宅医療の現状、課題を共有し、その中で将来に向けた前向きな取り組み、提言を「アフターコロナ」に向けて発信したいと思っています。</p>	
司会者	<b>東條 環樹</b>	国診協 地域ケア委員会 在宅医療推進部会会長／広島県:北広島町雄鹿原診療所所長
司会者	<b>齊藤 稔哲</b>	国診協 地域ケア委員会 在宅医療推進部会副会長／宮城県:気仙沼市立本吉病院長
発表者	<b>中東 奈津紀</b>	広島県:やまゆり居宅介護支援事業所介護支援専門員
発表者	<b>佐々木 真理子</b>	大分県:訪問看護ステーション協議会会長
発表者	<b>田中 武志</b>	鳥取県:日野病院訪問看護ステーションリハビリ部門理学療法士
専門分科会③(リハビリテーション部会)		
<b>【演題】</b>	<b>コロナ禍における地域包括ケア推進の取組み～新しい生活様式でリハビリテーション専門職が求められること～</b>	
<b>趣旨</b>	<p>コロナ禍の中で地域包括ケアシステムを推進していくためには、医療・介護の現場のみならず地域住民においても、感染拡大予防のためにあらゆる制限がとられるようになっていきます。新しい生活様式では地域住民の外出自粛など生活が不活発になる恐れのある中でリハビリテーション専門職が今まで以上に地域での活動に効果的な役割を果たすことが求められています。2025年に向け地域包括ケアシステムを確立するため、もう一度リハビリテーション専門職が医療機関のみならず地域の中で住民に対し、今までの活動から変化が求められるため、何をどのようにしていくことが必要なのかなど、皆様と検討していきたい。</p>	
司会者	<b>吉村 美佳</b>	国診協 地域ケア委員会 リハビリテーション部会副会長／広島県:公立みつぎ総合病院リハビリテーション部技師長
発表者	<b>江田 佳子</b>	長崎県:佐々町住民福祉課課長補佐
発表者	<b>齋藤 洋平</b>	国診協 地域ケア委員会 リハビリテーション部会委員／富山県:南砺市民病院リハビリテーション科主査 作業療法士
発表者	<b>北谷 正浩</b>	国診協 地域ケア委員会 リハビリテーション部会長／石川県:公立羽咋病院リハビリテーション科デイケア室長
専門分科会④(摂食嚥下・NST研究部会)		
<b>【演題】</b>	<b>「まちづくり」の視点を持って取り組む食支援～コロナ禍における地域での実践例から課題を整理する～</b>	
<b>趣旨</b>	<p>高齢者のフレイル、低栄養、サルコペニア予防として、地域での食支援は不可欠である。地域高齢者がフレイルや低栄養、サルコペニアに陥る要因として孤食や買い物難民など社会環境が大きく影響しており、食支援の取り組みは、まちづくりの視点を持って取り組まなければならない。ところがコロナ禍においては高齢者の外出などの活動性が失われ、身体機能の低下による転倒、認知症の進行、買い物に行かないため食生活が乱れ低栄養になるなどマスコミの報道でも問題事例が報告されている。コロナ禍によって介護予防活動の重要性が強調されるようになった一方で、地域での実践の中で弱点が露呈されたように思う。そこで本分科会では食支援をテーマにコロナ禍における地域での実際の取り組みを報告していただき、課題を整理しつつディスカッションしたい。</p>	
司会者	<b>木村 年秀</b>	国診協 地域ケア委員会 摂食嚥下・NST研究部会長／香川県:まんのう町国民健康保険造田歯科診療所長
発表者	<b>長谷 剛志</b>	国診協 歯科保健委員会委員 / 摂食嚥下・NST研究部会委員／石川県:公立能登総合病院歯科口腔外科部長
発表者	<b>梅木 麻由美</b>	岡山県:倉敷つばさクリニック管理栄養士
発表者	<b>幡多 正樹</b>	マサキフィルム 映像作家